

- 1 審議会名 丸子地域協議会
- 2 日 時 平成30年2月27日(火) 午後1時30分から午後3時00分まで
- 3 会 場 丸子ふれあいステーション 3階会議室
- 4 出席者 久保田和英会長、工藤裕子副会長、大神文子委員、小澤厚委員、掛川忠康委員、齋藤明委員、澤山定夫委員、田村裕子委員、寺島信幸委員、永井静江委員、牧内由貴委員、八木沢啓一委員、横山佳栄委員、吉池美智恵委員、依田勝夫委員
【欠席委員5名】
- 5 市側出席者 谷仲丸子地域自治センター長、石井丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、土屋市民サービス課長、鈴木産業観光課長、芦田建設課政策幹藤極丸子・武石上下水道課長、加藤丸子地域教育事務所長補佐兼スポーツ推進係長(説明者) 小林スポーツ推進課課長補佐兼スポーツ施設係長、滝沢丸子産業観光課課長補佐兼商工観光係長、石平丸子産業観光課主査藤森丸子産業観光課主査(事務局)柳沢地域振興課課長補佐兼地域政策係長、竹花主査、緑川主査(その他)長谷川地域おこし協力隊員
【欠席者2名】
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 2人 ・ 記者 2人
- 8 会議概要作成年月日 平成30年3月12日

1 開 会 (石井センター次長)

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1)上田市スポーツ施設整備計画について

以下協議

- ・一次評価で「再整備・廃止」とされた3施設について

(委員)「大塩体育館」を利用している内の3団体からヒアリングした内容をまとめ資料として提出した。3団体の内2団体は存続希望であったが、利用頻度等の関係もあるので総合的判断で良いかと思われる。

(委員)大塩に在住しているが、大塩としては使ってなく、あってもなくてもどちらでも良い。夏は合宿、冬は子ども達がグラウンドの代わりに利用している。たまに水道や電気の消し忘れがある。

(委員)丸子マレットゴルフコースは利用している人を見たことがない。また駐車場が近接して車を傷付けるなどの危険性もあるため、材木の囲いを撤去して芝生の通路にしたら安全かと思われる。

(会長)東内グラウンドは西側に詰所があり、駐車場等に利用しているため防災関係施設としてそのままにしたらどうか。他になければスポーツ推進課の報告通りでよろしいか。

異議なし

(行政)前回の協議会において、一次評価において「廃止」となされた施設についてもスポーツ推進課としては全部を廃止とは書いてなく、地元や消防等へ所管替したらどうかと提案した。あくまで一次評価と合わせてこちらの考え方を示したので委員の皆様からその他についてご意見があれば書いていただきたい。その意見を推進審議会に報告したうえで最終的に方向性を決めたい。

(会長)耐震化の負担を地元ではできないので視野に入れないでいただきたい。

よければ本日の意見を事務局でまとめて次回提示する。

1次評価が「耐震改修」「機能改修」「長寿命化」の15施設についても先ほどの意見をまとめて次回提示する。

(2)上田市丸子地域自治センター耐震化工事について

- ・「概要と経過」について、耐震化工事の基本計画を定めて設計に反映させるための具体的内容。耐震化工事によって不便とならないよう施設改修も行いながら、利便性の向上と窓口機能を充実、併せて施設や設備の更新等により長寿命化も検討。

- ・「建築物の耐震性の判断基準と診断結果」は、平成15年11月に実施した結果を記載。構造耐震標値

で0.75 以上に対し、自治センターは、0.522~0.55 で耐震化が必要との結果。

- ・「基本方針」は、耐震化を行う上で、また今後どのような施設にしていくかを市民が利用しやすい環境の整備等4項目を列記。
- ・「そのための具体的な機能」として、更に市民サービス向上項目を記載。(1)の窓口機能で4項目、(2)事務機能3項目、この内容で宜しいか伺いたい。
- ・「施設整備」について、すべての人が行政サービスを適切に利用できるよう環境整備の内容。(1)ユニバーサルデザイン、(2)環境に配慮した設備、この内容で宜しいか伺いたい。
- ・今回は項目のみ記載したが、次回は基本計画の案として項目ごと具体的な内容を書き足す。
- ・「その他必要とされる工事」、7項目列記。耐震化工事は、「緊急防災・減災事業債」を財源に行う。現時点での金額は、約24,000万円、これは自治センター耐震化だけにしか使うことができず、一階フロアのロビーへ耐震壁設置による来館者への不便解消、エレベーターや電気設備、老朽化した外壁等修繕等には合併特例債や持寄り基金、一般財源などが必要。
- ・耐震化基本計画の中で、絶対要求として挙げることはできないが、将来に向けての順位付けや、ここまではした方が良いのではないかと意見を伺いたい。
- ・それぞれの項目のおよその金額は、内部改修工事は、耐震化工事で内容が変わるため現在算出できないが、柱を使ったサイン表示や窓口カウンターの配置換え、待合ロビーの充実などは最低限あわせてできないかと考えている。外壁改修工事は、修繕や塗装工事などに約5,000万円、エレベーター更新工事で約2,300万円、コンクリートの劣化や手すりの修繕で約570万円、非常電源蓄電池改修工事で約1,500万円、北棟の非常用階段等塗装工事で約250万円。
- ・計画の内容はこれで宜しいか、項目の検討とその他の工事のあり方や順位づけについて、ご意見を伺いたい。

以下質問

(委員)「ワンストップ機能」とは

(行政)一つの動線で事が足りるよう、関係する課どうしを近づけるということ。

以下協議

・「具体的な機能」(1)「窓口機能」 から までの4項目について

(会長)耐震壁が設置されると見通しが悪くなるので、そうならない工事をしていただきたい。

(行政)素案を案にする時に詳細な説明を入れるが出された意見を盛り込みたい。

・((2)「事務機能」の から までの3項目について)

(会長)会議室は現行で機能的に回っているのか

(行政)会議室が不足しているということはない。

(会長)「機能的な業務スペース」とあるが、センター職員が減っている状況で今のスペースを確保するのが良いのか、減らしても良いのか、住民の交流スペースができて良いか、考えはあるか。

(行政)機能的な業務スペースは、机の数、課長の数等による基本的な計算面積があり、それを参考にする。

(委員)「事務機能」は、「窓口機能」がしっかり機能すれば、職員の意見を優先していただきたい。

(行政)どういう庁舎のあり方が良いかの指針が本庁等の建設計画の中で挙げられている中身を入れてあるので、それほど外れた内容ではないと思っている。

・「施設整備の考え方」(1)「ユニバーサルデザイン」 から までの3項目について

(会長)先程の行政からの説明内容でよろしいか。

異議なし

・(2)「環境に配慮した設備」について

(会長)太陽光は考えているか。

(行政)今の時点では考えていない。照明のLED化などできることからやりたい。

・「その他必要とされる工事」について

意見なし

(会長)本日出された意見を事務局でとりまとめ、次回の協議会で回答案としてご提示します。

4 報告事項

(1)上田市鹿教湯健康センター「クアハウスかけゆ」及び上田市鹿教湯温泉国民宿舎鹿月荘の今後の方針について

- ・平成27年7月28日に市から丸子地域協議会に対して、クアハウスと鹿月荘の両施設の今後のあり方についての意見を依頼、平成28年3月15日に協議結果報告書を提出いただき、4点が総括事項として記されている。

- ・両施設における今後の経営状況の推計と将来的な公費負担の算出・検討、指定管理料実績の表、平成24年度から平成28年度までの鹿月荘とクアハウスの決算上の収支状況(H24年度指定管理料は、

クアハウス約 3,200 万、鹿月荘約 550 万、合計 3,700 万余の指定管理料、H28 年度クアハウス 4,400 万、鹿月荘 1,500 万余、合計 5,900 万円余の指定管理料) 現状の経営形態を維持した場合の将来推計(平成 34 年度推計、クアハウス 4,500 万、鹿月荘 1,900 万、合計 6,400 万円の指定管理料)

- ・両施設における今後の維持管理のための工事費の算出・検討(両施設とも、温泉を利用することから、建物や設備の劣化が著しい状況で、将来的には多大な工事費、修繕費が必要)
 - ・庁内連携ワーキング会議でそれぞれの所属の立場から意見や問題点等を出し合い、検討した。
 - ・クアハウスの活用について、健康推進課、高齢者介護課、丸子地域教育事務所、県上田地域振興局商工観光課、鹿教湯病院、鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト、日本理学療法士協会等の関係機関と協議や意見交換を実施
 - ・鹿月荘で客室改修による利便性の向上や料金改定による収益増など経営改善案検討。
 - ・両施設の民間事業者への施設譲渡を鹿教湯温泉の宿泊業者等民間団体等へ打診等行ったが、現時点では受け入れなし。
 - ・クアハウスは、今後、更なる指定管理料、公費負担の増加が見込まれること、施設の老朽化等により、今後多額の修繕費用が見込まれること、温泉プールは、健康増進を目的とした利活用が見込まれるが、バーデゾンのみの利用者はほとんどいないことから、クアハウスは、廃止する方向。
 - ・健康増進事業や介護予防事業が、クアハウスの温泉プール部分を活用し、継続して実施することができる等の理由から、鹿月荘については、クアハウスの温泉プールを併合し、存続する方向。
 - ・クアハウスのバーデゾン部分は当面解体せず残すこととし、今後施設の民間譲渡や解体するとした場合の跡地利用などについて引き続き検討。
 - ・鹿月荘に廃止するクアハウスの温泉プール部分を併合のうえ、建物のリニューアルを検討。昭和 60 年代の建築で、6 畳間という狭い部屋が 36 室中 26 室を占め、家族ずれや団体客のニーズに対応しづらい状況のため、大人数で訪れるファミリー客層や団体客層など新たな客層の取り込み等のため、6 畳 2 間を広い 12 畳 1 間とするなど、客室の一部を改修し、利用者の利便性の向上を図りたい。
 - ・鹿月荘の宿泊料金、食事料金の改定、特別料金、1 人 1 部屋料金、土日祝祭日前料金の新設、正月料金の改定など収益の改善を図りたい
 - ・現在の両施設の指定管理期間は、H29、30、31 年度の 3 年間で基本的に現行の指定管理期間は経営改善の準備期間でこの間に、地域協議会や議会への報告、地元への説明、料金改定の検討、改修工事の検討、条例改正の議決等進める。
 - ・H32 から経営改善を実施することにより、試算で約 2,900 万円公費負担の削減が図られる。
 - ・今後のスケジュールは、30 年度中に議会への報告、地元説明会の実施、31 年度から施設改修工事の実施、新たな利用料金の検討、31 年 6 月議会でクアハウスの条例廃止及び鹿月荘新料金設定の条例改正、現行の指定管理期間の終了、32 年から新たな施設・利用料金による指定管理の開始。
- (センター長) 追加説明として、市政経営会議において調査研究した結果、地域協議会で出された協議結果報告書の内容等を十分に踏まえて出した方針であることを説明した。

以下質問

- (委員) クアハウスの光熱水費に温泉利用料が含まれているか、また鹿月荘がプールも併合して鹿月荘の経営計画を立てていくと思うが、運営委員会的なものを鹿教湯全体や地域協議会も含めてなど広げる考えがあるか。
- (行政) 収支の管理運営費の中に温泉利用料も含まれている。また今運営委員会はないが、今後指定管理を受けている事業団だけではなくて地元団体等も含めて幅広くお伺いしていきたい。
- (委員) 私自身プールに通っているが、介護などで車椅子利用の方などお見受けするので、是非そういった場合には鹿教湯病院も取り込んでいただきたい。
- (センター長) 運営そのものに運営委員会を作ってやっていく考え方ではなくて、丸子の温泉郷全体の活性化をどうしていくのかということを皆で話し合いながらそれぞれ施設の運営を考えていく必要があるのではないかと考えている。

(2) 分科会及び研究会での検討状況について

(ア)新しい観光に関する分科会

- ・異業種交流会を 2 月 22 日に開催で決定。地域おこし協力隊長谷川氏にプロジェクターなどを使ったデモをしてもらうことで決定。
- ・SNS などを通じて情報を発信していくのが良いのではないかと、業種毎に発信をしていくのか会として全体として発信していくのか、またはそれぞれの業種、業態から担当者を決めて出していくのか検討
- ・農業関係者は、個人が独自で発信か組織から発信かの 2 通り
- ・農・商・工又は観光が連動した情報発信が望ましい。

(イ)丸子地域の子育て支援に関する分科会

- ・今期のまとめを実施
- ・子ども食堂を「社会福祉法人まるこ福祉会」で実施の計画
- ・生活情報を盛り込んだカレンダーを検討

(ウ)市民活動団体交流会実行委員会

- ・2月17日(土)に「第7回市民活動団体交流会」を開催。参加団体24団体、参加者数57人、オープニングで「雅楽の演奏復活の会」による「越殿楽」演奏披露。
- ・座長の総括・その他で、「手間とお金」決まりきった課題を解決するためにはイベントや道具の貸し出しや参加費などお金をいただいて運営をしていくということも必要なのではないか、ということを上申した。

5 その他

(1)第6期地域協議会委員のアンケート調査について

- ・今期の活動の総括、来期への引継事項等の確認、今後の協議会運営の参考とさせていただくためアンケート調査を実施、資料のアンケート用紙にご記入いただき3月9日(金)までに提出。

(2)次回以降の協議会日程について

第13回協議会 3月20日(火) 午後2時30分 丸子地域自治センター4階講堂

6 閉会

【分科会の開催】15:00～各30分程度で実施

子育て支援に関する分科会

3階福祉団体活動室

新しい観光に関する分科会

3階会議室

公共交通分科会

3階会議室